

すまいるNEWS

2025新春号

フクダハウジング株式会社
新潟県新潟市中央区関新3丁目2番4号
フリーダイヤル：0120-974-699

社長メッセージ 「ありがとう」は魔法の言葉



新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

さて、今回のテーマは「ありがとう」

という言葉です。現在、スポーツ指導の現場でもこの言葉の持つ効能が注目されていて、私自身も(社員は気づいていないかもしれませんが)職場で多用しているところです。

具体的には、「嫌いな先生の授業は頭の中に残らない」「嫌いな上司には素直になれない」と言われるように、そもそも人間関係が破綻している組織では、話し手の意図が思うように伝わらないことがあります。また人間の心理として、嫌いな人から正論を突き付けられたり、自分の間違いを指摘されたりすると屈辱に感じ、何らかの拒否反応が出てしまうことは、みなさんも自らの体験を通じて少しはご理解いただけることと思います。

私が「説明力」の講師養成講座を受講したとき、先生から最初に教わったことは、自分の考えを他人に正しく伝えるためには、話し方のテクニック云々の前に、まずは「良好な人間関係の構築」が重要となるということでした。私も頭では分かっていたつもりでしたが、特に対策を講じてはいなかったもので、この言葉は心に刺さりました。

ちなみに、良好な人間関係を築くために、みなさんご自分で工夫されていることはありますか。私の場合は、冒頭の「ありがとう」の言葉をたくさん使うことを意識しています。立場・年齢の上下関係なしに、何かをサポートしてもらったら「ありがとう」。自分を楽しくさせてくれたら「ありがとう」。タクシー

から降りるときでも「ありがとう」。なんでも“あたりまえ”だと思わずに新鮮な気持ちで「ありがとう」を心掛けています。

ちなみに、「ありがとう」の言葉には、あなたの存在に感謝しますという意味も含まれているとか。特に、立場が上の人が使うと効果絶大で、最近はスポーツコーチたちにも多用するように勧めています。

最後に、私の取って置きの「ありがとう」ネタをご披露したいと思います。みなさんは、遠距離の友達からプレゼントをもらったとき、あるいはお中元やお歳暮の品物が宅配便で届いたとき、どのようにして感謝の気持ちを相手に伝えますか。

私は、受け取ったらすぐに、相手に電話で「ありがとう」を伝えます。さらに果物の場合は、しっかりと食してから「送り主」と「生産者」の双方に、できるだけ自作の絵手紙で感謝を伝えています。ポイントは、荷造りしてくれた果物の生産者にも感謝の気持ちを伝えること。そうすると、生産農家さんから逆に私宛のお礼のはがきが届いたりして、笑顔の輪が拡大します。マルチで使える「ありがとう」は、もっともっと社内外の別なく広めていきたいと思っています。



美空ひばりに服を着せました

代表取締役社長 木津広美



ありがとう、関新モデルハウス。

2024年12月から解体がスタートした関新モデルハウス。2008年に竣工し、早くも16年が経過。本社の隣にあった建物が日に日に解体されていき、なんだか少し寂しい気持ちになりました。

この関新モデルハウス、どうやら職人泣かせの建物だったようです。話を聞くと、構造で使用されている金物が非常にしっかりしており、重機でガシャッと壊そうにもなかなか大変だったとか。フクダハウジングの建物の丈夫さが伺えました。解体後の計画はお楽しみに。



▲解体中の関新モデルハウス

液状化勉強会 ～地震に強い住まいをつくる～

昨年秋にフクダグループ会社「株式会社興和」の社員の方を講師にお招きして、液状化と新潟の地盤について詳しく学ぶための勉強会を行いました。株式会社興和は、防災や減災、インフラ管理などの分野を専門とする会社です。2024年1月1日に起きた能登半島地震の事例をあげ、液状化現象が起きやすい条件や場所などを、詳しく解説していただきました。

宅地の液状化発生について事前に把握しておくことで、液状化しやすい分譲地の仕入れを避けたり、地盤改良



などの必要な措置をとったり、お客様に自信を持って土地や分譲地を薦めることができるようになり、フクダハウジングの強みとなります。

北陸地方整備局の「液状化しやすさマップ」や国土交通省「重ねるハザードマップ」などで、住んでいるエリアが



液状化しやすいのかどうかチェックすることができます。

ちなみにフクダハウジング本社が建つ場所は、液状化危険度レベル4(危険度高い)でした。もちろん、液状化対策をしたうえで建築しており、能登半島地震の際は、幸い被害は何もありませんでした。しかし、今後大きな地震があった際にどうなるかわかりません。

災害は地震だけではなくありません。近年は台風や大雨による土砂災害や洪水が多く発生しています。何十年と続く暮らしのことまで考えて家づくりを始めることが大切だと、改めて考えるきっかけとなりました。



内窓リフォームで 補助金最大200万円もらえる! 最新版「先進的窓リノベ2025事業」



「先進的窓リノベ2025事業」とは、既存住宅の早期の省エネ化、エネルギー費用負担の軽減及び住まいの快適性の向上等を目的とした補助金です。2024年に引き続き、後続事業として来年も実施されます!

高い断熱性能を持つ窓への改修に関する費用を補助(上限200万円)します。対象工事:2024年11月22日以降に着工した外窓サッシ交換、内窓(インナーサッシ)設置、ガラス交換、ドア交換(窓工事と同一工事内のものに限る)の工事。

オーナー様におすすめなのは内窓(インナーサッシ)設置! 既存の窓の内側にインナーサッシを設置するだけで、断熱性能が大幅にアップします! 空調の効きが驚くほどよくなるので、冬暖かいだけでなく夏も涼しいを実現! 毎年寒さ・暑さが厳しい新潟の気候にぴったりです。通常価格の半額程度で住まい全体の窓を二重窓にできるチャンスです!

実際に設置したお客様からも過ごしやすさ実感の声か

多く寄せられています。1日の工事で完了することが多いので、家を空けることが多いご家庭でも安心です。

【内窓補助額の例】

とあるマンション

※価格はあくまで一例です。メーカーやサイズ、時期によって価格は変動します。

リビング:サイズ大の掃き出し窓2ヶ所
洋室:サイズ中の窓2ヶ所
→Sグレードの内窓の場合は…補助額218,000円
半額～2/3程度の費用で施工が可能です!

とある戸建て

LDK:サイズ大の掃出し窓2ヶ所とサイズ小の1ヶ所
浴室:サイズ中の窓1ヶ所
トイレ:サイズ小の窓1ヶ所
洋室:サイズ中の窓3ヶ所
→Sグレードの内窓の場合は…補助額362,000円
半額～2/3程度の費用で施工が可能です!

＼2025年こそやってみせる！！／

『新年の目標』を決めて行動する

2024年は皆さまにとってどんな1年でしたか？年末に知り合いと話をしていて「この1年一体何をやってたんだろう…と思うくらいあっという間に1年が終わった」「年々早く感じる気がする」と口を揃えて言います。私自身も、目の前のことをただやり続けて終わった、という感覚。でも今年こそは、自分を見つめ直して、しっかり目標を立てて行動したいという気持ちに駆られたので、今回はその方法をご紹介します。

《2人の子育て中》
松岡もチャレンジ!



目標実現のための“アクションプラン”

私が最近読んだ本からご紹介します。※参考書籍『人生をガラリと変える「帰宅後ルーティン」』
人々は新年になると、新たな気持ちで目標を立てます。この目標を達成するために必要なのが、行動計画です。小さな行動が積み重なって私たちの望む結果を生み出すので、「アクションプラン」を立てることをお勧めしています。

- ステップ形式で、
STEP①目標設定→STEP②締め切りの設定→
STEP③目標リストの作成→STEP④行動計画の
作成→STEP⑤妨げになる要因の除去→
STEP⑥即実践→STEP⑦たゆまず前進



●アクションプランナーの書き込み例

ACTION PLANNER		開始日：2025年●月●日	
Goal	ブックカフェ創業		
By when?	2025年○月まで		
How?	市場調査とマーケティングに心血を注ぐ！		
優先順位	アクションプラン	開始日	終了日
1	専門学校申込み/パリスト養成コース履修		
2	不動産の立地調査		
3	全国ブックカフェ20店舗市場調査		
4	店舗およびインテリア研究		
5	マーケティング関連書籍を読む		
6	資金調達		

大切なことは、これを書いた後に目標について考えるのではなく、ただちにすべきこと、アクションプランにのみ集中することです！ぜひ活用してみてください♪

NEW FACE

2024年8月、11月に新たに2名の社員を迎え入れました。
建築部リノベーション調査設計課と営業課にそれぞれ配属となりました。
今後の活躍に期待です！①出身②趣味③資格④一言コメント



さかい しんいち
酒井 伸悟

①五泉市②建築探訪旅行、料理 ③一級建築士
④2024年8月に入社し、リノベーション調査設計課に配属となりました。リノベーションに携わらせていただく住まいは、歴史と思い出が詰まっていることと思います。大切にしたいもの、新しくしたいことなどご希望を叶えるお手伝いをさせていただきます。ご縁を楽しみにご相談をお待ちしております。



ちの まさひこ
知野 雅彦

①新潟市②バスケ、ディズニー、古着屋巡り
④以前も新築・リフォームと住宅に携わる仕事をしてきました。住宅は、一家族一家族で『想い』や『物語』があります。お客様との出会いに感謝し、一生の思い出となるお住まいづくりのお手伝いをさせていただきます。どんな些細なことでも、まずはご相談ください。

小新モデルハウス公開中

昨年10月に新潟市西区小新にオープンした小新モデルハウス「五感を満たす心地よい住まい」。室内は、造作キッチンや木製窓、自然素材の家具やカーテンなど、質感にこだわった洗練された空間が広がります。フクダハウジングの家づくりを、ぜひご体感ください。

- ★住所／新潟市西区小新2丁目16-15
- ★営業時間／土曜・日曜 10:00～17:00
- ★駐車場／モデルハウス敷地内



フクダハウジング株式会社
〒951-8141 新潟市中央区関新3丁目2番4号

＼いいね！やフォローお待ちしております！／



★HP ★Facebook ★Instagram

お気軽にお問い合わせください
0120-974-699

連載コラム

わたしの日常 vol.14



ふくはら
福原 ほのか

スタッフの休日や趣味のことなど、徒然なるままに。パーソナルな部分をちょこっとご紹介します。あの人の意外な一面が垣間見られるかも?! 第14回目は、建築部設計課の福原です。

建築部設計課の福原と申します。今回は、私の休日の過ごし方をご紹介します。

学生時代から旅行が趣味で、1日空いている日があれば県内外問わずいろんなところへプチ旅行していました。行き当たりばったりの旅もあれば、下調べをたくさんして計画を立てて旅行することも好きです。ただ、私の旅行では「美術館が休館日」「行きたかったカフェが臨時休業」があるあるなので、どうしても行きたいところの営業情報だけは必ずチェックするようにしています。旅行先で建築物を見学したり、現地のおいしいものを食べたり、そこでしかできない体験をするのが楽しいです。

2024年は函館、仙台、横浜、熱海に行ってきました。特に、函館の街は海を囲むような湾形状の地形のため、湾内の波に反射した光が街中をキラキラと照らしていて、とても素敵でした。

また、旅行でたくさん歩いたり非日常の場所でのフレッシュしたあと、自宅に帰ってきて「やっぱり自分の家が1番居心地がいいな」と思うのも、旅行したい理由の1つです。最近ではホテルステイを楽しめるホテルも増えているので、ゆっくりくつろぐ旅行もしてみたいなと気になっています。

2025年は京都、福岡への旅行を計画中ですが、あわよくば海外も行きたいな～と思い、パスポートを更新してきました。今年もいろんなところに行けるように色々頑張りたいと思います。



編集後記

昨年秋に、トルコ旅行しました。いつか絶対に行きたいと思っていた念願のトルコ！ヨーロッパとアジアの文化が混ざり合った独特の文化や建築物など、見たい触れたいと思っていたものを思う存分感じる事ができました。見学した世界遺産ももちろん良かったのですが、エーゲ海で見た夕陽が忘れられません。海外旅行の際は、だいたい「早く家に帰りたい…」と思うのですが、今回は帰りたいと思いませんでした。トルコ、おススメです。 佐藤 愛